

大会名称: 第61回国民体育大会(のじぎく兵庫国体)

バスケットボール競技

開催場所: グリーンアリーナ神戸 Fコート

試合区分: No. 308 少年男子 1回戦

期 日: 2006(H18)年10月1日(日)

主審: 蒲 健一

開始時間: 15:15

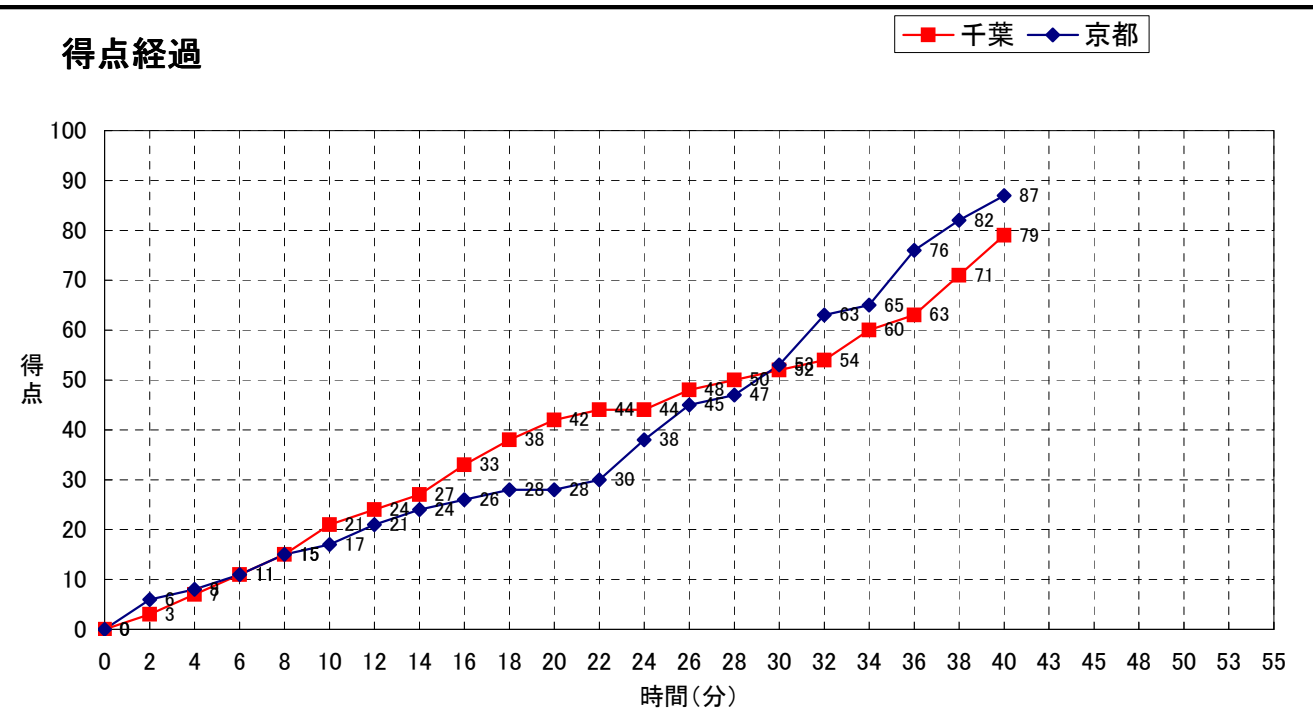
副審: 守谷 圭介

終了時間: 16:36

京都 (近畿)						千葉 (関東)									
○ 87						● 79									
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	竹本 涼	4	0	2	0	0	4	*	中山 徹大	5	0	2	1	2
5	*	湊谷 安玲久司朱	20	0	10	0	4	5	*	吉田 新	7	1	2	0	3
6		井関 慎平	10	0	5	0	2	6		山越 健司	0	0	0	0	0
7		金井 賢治	6	0	3	0	1	7		柳 亮祐	6	1	1	1	1
8		永原 龍徳	0	0	0	0	0	8	*	宇田川 一馬	8	0	3	2	5
9	*	田村 晋	13	1	4	2	2	9		武者 耕太郎	0	0	0	0	1
10	*	辻 直人	19	2	6	1	0	10		池内 博人	0	0	0	0	1
11		加藤 貴大	0	0	0	0	0	11	*	神 佳希	17	3	4	0	1
12		柳田 将人	1	0	0	1	0	12	*	本田 勇真	16	0	8	0	2
13		谷口 達朗	-	-	-	-	-	13		遠藤 祐亮	2	0	1	0	1
14		比江島 慎	9	0	4	1	0	14		星野 拓海	16	4	1	2	1
15	*	谷口 大智	5	0	2	1	2	15		中平 貴宏	2	0	1	0	0
コーチ		作本 信夫雄						コーチ		廣田 誠					
合計			87	3	36	6	11	合計			79	9	23	6	18

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール

### 得点経過



### ゲームレポート

第1ピリオド、両チーム共マンツーマンディフェンスでスタート。千葉は#12本田、#11神の1 on 1、京都は#15谷口のインサイドの1 on 1で両者互角の展開。その後、一進一退の攻防が続き、残り1分、千葉#5吉田、#11神の連続3Pシュートで千葉4点リードで第2ピリオドへ。

第2ピリオド、千葉は第1ピリオドの流れの中、パスを中外としっかりまわし、#12本田のジャンプシュート、#4中山のリバウンドで加点していく。一方、京都は、外角のシュートが入らず、苦しい中での1 on 1が続く。残り2分、千葉は#4中山がリバウンド後に速攻に参加し、レイアップシュートを決め38-28の10点差となる。京都は速い展開でのオフェンスを試みるが、千葉のディフェンスの戻りが早く、流れをつかむことができない。千葉が14点リードで後半へ。

第3ピリオド、千葉は何度もリバウンドのがんばりを見せるが、その後のリング下のシュートを決めることができない。逆に京都は#10辻の速攻から1-2-2のゾーンプレスをしかけ一気に3点差までつめよる。千葉は#12本田の3連続ゴールで追撃を許さない。しかし残り5秒、京都が#9田村のリング下シュートでついに逆転し、53-52の1点リードで第4ピリオドへ。

第4ピリオド、流れをつかんだ京都はリバウンドから速攻を出し、開始2分で一気に7点差をつけた。千葉は#13遠藤が交代直後に1 on 1で奮起するが、京都#14比江島の連続バスケットボールカウントでリードを守る。なかなか追いつけない千葉は残り4分63-72の9点差のところまでタイムアウト。千葉はオールコートディフェンスでプレッシャーをかけ頑張りを見せるが京都は落ち着いてプレーし、確実に加点していく。残り1分千葉#14星野の3連続3Pシュートで最後まで粘りを見せるが、終始速い展開で攻め続けた京都が粘る千葉を87-79で勝利した。

担当者: 初谷 洋志(兵庫県バスケットボール協会)

(財)日本体育協会・(財)日本バスケットボール協会